

きらり いわたし 人

Make the Scenery Tune ~景色に音を~

ユニット「m.s.t.」ピアニスト

もちやま しょうこ
持山 翔子 さん

----- Profile -----

1984年生まれ。磐田市出身。作編曲家として、西野カナ「トリセツ」の作曲（共作）を始め、数多くの楽曲制作、アニメやゲーム音楽の制作に携わる。キーボーディストとして、ももいろクローバーZ、倉木麻衣など多くのアーティストをサポート。歌心を大事に、幅広いプレイスタイルでさまざまなライブやレコーディング、テレビ収録などに参加。お気に入りの場所は今之浦公園、かぶと塚公園、つつじ公園、旧見付学校

持山翔子さんは「m.s.t.」のピアニストとして、ベーシスト小山尚希さんとジャズやクラシックをベースに活動しています。日常の小さな出来事をテーマにした曲は、叙景的かつスリリングな展開で観客の共感を得ています。5月20日(日)にアミューズ豊田で凱旋ライブを行う持山さんに伺いました。

音楽の世界に入るきっかけは？

音楽教室で4歳からピアノを、6歳からエレクトーンと作曲を始めました。幼い頃から自分で作曲して演奏することが自然な環境で過ごしていました。中学生の頃、作曲コースの先生と出会ったことで、将来曲を作って音楽活動をしていくことが自分の中で現実的になりました。同じ頃、渋谷のオーチャードホールで自分の作った曲を演奏する機会があり、人前で演奏することもいいなと思うようになりました。

これまでの活動で印象に残ったことは？

ボーカリストのサラ・レクターさんのアルバム制作に参加した時、私の曲に彼女が歌詞を書いて「You Are Loved」という曲ができました。それを彼女が歌った時「曲に歌詞が乗ると、こんなに変わるのか」とすごい衝撃で、特別な経験となりました。その後、この楽器に合う曲はとか、誰かが歌っていたらとか想像して作るようになり、曲作りの幅が広がりました。

曲作りで心掛けていることは？

「m.s.t.」の活動で作るときは、常に今まで作った曲とは違うもの、響きや印象で聴いた方がハッとするような曲を思っています。日常生活のワンシーンとか、心情とかがイメージでき、心に伝わるような曲を作りたいです。また一人で作る曲と小山君と二人で作る曲では、曲の感じが全然違います。互いに刺激し合い「m.s.t.」らしさを形にしていきたいと思っています。

「m.s.t.」の今年の活動は？

ライブ活動では、いろいろな方や楽器とのコラボをさらに増やして、新たな編成で演奏をしていきたいですね。昨年2枚のミニアルバムを出しましたが、さらに編成を広げた形で、フルアルバムが制作できればと思っています。

凱旋ライブに向けて

ここまで大きい規模のライブは初めてで、ちよつとドキドキしています。「m.s.t.」は「景色に音を」をコンセプトにしているので、自分が生まれ育った静岡・磐田が常にどこかにあり、その風景をイメージして作った曲もたくさんあります。地元の方とそういうところを共有できるので、今から楽しみです。ライブ後には、日常の中に音楽が流れる感覚を皆さんに味わってもらえたらうれしいです。